

浜松市道路用砕石品質管理取扱基準

(目的)

- 1 この基準は、浜松市が使用する道路用砕石の検査及び品質管理試験等に関する必要な事項を定め、道路用砕石の適正な品質を確保することを目的とする。

(適用範囲)

- 2 浜松市が発注する工事に使用する道路用砕石は、この基準によるものとする。

(道路用砕石の種類)

- 3 道路用砕石とは、クラッシャーラン、粒度調整砕石、単粒度砕石、スクリーニングス及びダストをいう。

(使用承諾等の申請)

- 4 道路用砕石の使用承諾を受けようとする者（以下「申請者」という。）及び道路用砕石の使用承諾を受けた者が廃止等する場合は必要な事項を記載し、署名した申請書（別紙1、別紙2）又は届書（別紙3）に資料を添付して、浜松市財務部技術監理課（以下「技術監理課」という。）に1部提出しなければならない。

(審査等)

- 5 浜松市財務部技術監理課長（以下「技術監理課長」という。）は、申請があったときはこれを審査し、届書についてはこれを確認した上、受理するものとする。
審査方法は、書類の検査、生産施設の現地検査及び道路用砕石の品質管理試験とする。

(検査)

- 6 検査は技術監理課の検査監の立会いのもと、以下項目について実施し、品質管理試験用砕石（以下「試料砕石」という。）を採取する。

(1) 書類の検査

- ① 採取計画認可書、採掘に関する認可書の認可期間並びに採取、採掘範囲及び内容の確認
- ② 生産工程に関するフロー図の確認
- ③ 試験室器具に関する書類の確認
- ④ 自主検査試験結果書及び品質管理項目における数値の確認
- ⑤ はかりの検査成績書確認
- ⑥ その他必要書類の確認

(2) 生産施設の現地検査

- ① 生産工程フロー図との整合確認
- ② 生産施設の安全対策確認
- ③ 製造物における不純物等の混入確認
- ④ 整理整頓状況確認
- ⑤ はかりの検査シール確認
- ⑥ その他書類との整合確認

(品質管理試験)

- 7 申請者は、前項6により採取した試料砕石の品質管理試験を第三者に行わせるものとする。

(試験項目及び規格値)

8 道路用砕石の品質管理試験項目と規格値については下表のとおりとする。

[道路用砕石の試験項目及び規格値]

品名	項目	試験方法	規格値	備考
クラッシャーラン	粒度	JIS A 1102	土木工事共通仕様書の 粒度範囲内	
	塑性指数	JIS A 1205 0.425mmフルイ通過分	6以下	
	修正CBR	舗装調査・ 舗装試験法便覧	30以上	等値換算係数=0.25の場合
	表乾密度	JIS A 1110	2.45以上	瀝青安定処理に用いる値
	吸水率	JIS A 1110	3.0%以下	
	すりへり減量	JIS A 1121	40.0%以下	
粒調砕石	粒度	JIS A 1102	土木工事共通仕様書の 粒度範囲内	
	塑性指数	JIS A 1205 0.425mmフルイ通過分	4以下	
	修正CBR	舗装調査・ 舗装試験法便覧	80.0%以上	
	すりへり減量	JIS A 1121	40.0%以下	
	安定性損失量	JIS A 1122	20.0%以下	
	破砕面	4.75mm以上	60%以上が2つの破砕面	原材料が玉石の場合
単粒砕石	粒度	JIS A 1102	土木工事共通仕様書の 粒度範囲内	
	表乾密度	JIS A 1110	2.45以上	
	吸水率	JIS A 1110	3.0%以下	
	すりへり減量	JIS A 1121	30.0%以下	
	安定性損失量	JIS A 1122	12.0%以下	
	偏平率	4.75mm以上	10.0%以下	
	粘土塊量	JIS A 1137	0.25%以下	
	破砕面	4.75mm以上	40%以上が2つの破砕面	原材料が玉石の場合
スクリーニングス	粒度	JIS A 1102	土木工事共通仕様書の 粒度範囲内	
	塑性指数	JIS A 1205 0.425mmフルイ通過分	N.P	
原 石：砕石の原石は、硬質の玄武岩・安山岩・石英粗面岩・砂岩・石英岩・若しくはこれに準ずる材質の 岩石または砕石の最大粒径の3倍以上の玉石とする。 品 質：1) 細長く薄っぺらな石片の有害量を含んではならない。 2) 強硬、耐久的及び均等質であり、軟らかいまたは崩れやすい石片の有害量を含んではならない。 3) 清浄であり、ごみ・泥・有機物などの有害量を含んではならない（単粒砕石）。 4) 水・ごみ・泥などの有害量を含んではならない（スクリーニングス）。				

(品質管理試験結果書の提出)

9 申請者は必要な事項を記載し、署名した結果書（別紙4）に試料砕石の品質管理試験結果書を添付して、すみやかに技術監理課長に、各1部提出するものとする。

(審査結果の通知)

10 技術監理課長は、審査終了後、品質規格に適合している場合はすみやかに承諾書（別紙5）を申請者に通知する。

(審査時期及び審査の省略等)

11 審査は、定時審査と随時審査とする。

定時審査は原則として隔年実施するものとし、使用承諾の有効期間は2年とする。ただし、国土交通省、静岡県及び公共機関（財団法人、中日本高速道路株式会社を含む）が過去2年以内に検査・品質試験等を実施している場合は、審査を省略することができる。

随時審査は、定時審査の期間内に使用承諾等の申請があった場合に適時実施するものとし、使用承諾の

有効期間は、原則として当該定時審査による使用承諾の期限までとする。

(自主検査)

- 12 道路用砕石の使用承諾を受けた者は、「道路砕石自主検査試験結果書の作成について」に定める自主検査試験を実施し、自主検査試験結果書を作成するものとする。ただし、前項 11 の定時審査を実施する年度にあつては、年 1 回の試験項目については、これを要しない。

自主検査試験結果書の様式及び提出、保存等についても「道路砕石自主検査試験結果書の作成について」によるものとする。

(申請書等の提出及び承諾書の通知方法)

- 13 申請書等の提出及び承諾書の通知は、書面又は電子データによるものとする。なお、書面の場合は郵送、電子データの場合はメールによることができる。

附 則

この基準は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この基準は、平成 23 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この基準は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この基準は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この基準は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

令和 年 月 日

(あて先) 浜松市財務部 技術監理課長

申請者 (住 所)
(会社名)
(代表者)

道路用砕石使用承諾申請書

当社が、下記砕石生産施設において生産する道路用砕石の使用承諾 (新規工場 継続) を受けた
いので、関係資料を添付して申請をいたします。

記

1. 砕石の種類 (規格)

2. 砕石生産施設の所在地

3. 原石名

4. 添付資料
 - ・ 岩石採取計画認可書の写し
 - ・ 生産工程フロー図
 - ・ 砕石生産施設見取図 (新規工場のみ)
 - ・ 試験室試験器具写真 (台紙に試験器具の名称を記載)
 - ・ 粒調砕石については、配合決定表及び含水比調整表

- ④ ①該当する項目の□内にレ点を付す。
②複数の申請項目がある場合は、項目ごとに申請書を作成する。

令和 年 月 日

(あて先) 浜松市財務部 技術監理課長

申請者 (住 所)
(会社名)
(代表者)

道路用砕石使用承諾変更申請書

当社が、下記生産施設において生産する道路用砕石の {使用 生産施設 (変更 機器取替)} 承諾を受けたいので、関係資料を添付して申請をいたします。

記

1. 砕石の種類 (規格)

2. 砕石生産施設の所在地

3. 原石名

4. 添付資料

- ・ 岩石採取計画認可書の写し
- ・ 生産工程フロー図 (生産施設変更にあつては、変更前、変更後)
- ・ 砕石生産施設見取図
- ・ 試験室試験器具写真 (台紙に試験器具の名称を記載)
- ・ 品質管理試験結果
- ・ 粒調砕石については、配合決定表及び含水比調整表

- ④ ①該当する項目の□内にレ点を付す。
②複数の申請項目がある場合は、項目ごとに申請書を作成する。

令和 年 月 日

(あて先) 浜松市財務部 技術監理課長

申請者 (住 所)
(会社名)
(代表者)

道路用砕石（使用・生産施設）廃止、採取認可期間更新届書

当社は、下記砕石生産施設における道路用砕石の（使用廃止 生産施設廃止 採取計画認可期間更新）をしましたので、お届けいたします。

記

1. 砕石の種類（規格）

2. 砕石生産施設の所在地

3. 原石名

4. 廃止の場合は廃止年月日、期間更新の場合は採取期限

5. 添付資料（更新の場合）
 - ・更新前の岩石採取計画認可書写し
 - ・更新後の岩石採取計画認可書写し

- ④ ①該当する項目の□内にレ点を付す。
②複数の届出項目がある場合は、項目ごとに届書を作成する。

令和 年 月 日

(あて先) 浜松市財務部 技術監理課長

申請者 (住 所)
(会社名)
(代表者)

道路用砕石品質管理試験結果書の提出について

当社が令和 年 月 日付け道路用砕石使用承諾申請をした下記の道路用砕石 (番号に○印を付したもの) について、品質管理試験結果書を提出します。

記

1. 粒度調整砕石 (M-30)
2. クラッシュラン (C-30)
3. クラッシュラン (C-30 瀝安)
4. 単粒度砕石 S-30 (4号)
5. 単粒度砕石 S-20 (5号)
6. 単粒度砕石 S-13 (6号)
7. 単粒度砕石 S- 5 (7号)
8. スクリーニングス (F-2. 5)
9. ダスト及び砂

担当者: ○○ ○○
TEL: ○○○-○○○○-○○○○
E-Mail: ○○○○○○@○○. ○○

令和 年 月 日

申請者 様

浜松市財務部 技術監理課長

道路用砕石の使用承諾について（通知）

令和 年 月 日付けで申請のあった下記製品について、検査を行った結果、浜松市道路用砕石品質管理取扱基準の品質規格に適合していることを確認したため、浜松市が発注する建設工事の道路用砕石としての使用を承諾します。

記

1. 砕石の種類（規格）
2. 砕石生産施設の所在地
3. 原石名
4. 有効期間

ー 道路用砕石 申請等マニュアル ー

浜松市では、平成23年度までは、市が発注する工事で使用する道路用砕石について、静岡県が品質等の審査を行い使用承諾したものを使用することとしていました。

しかし、平成24年度以降は、市が発注する工事で使用する道路用砕石については、浜松市が自ら使用承諾を行なうこととし、これらの事務処理を円滑に遂行するため、「浜松市道路用砕石品質管理取扱基準」（以下「基準」という。）を制定しました。

つきましては、基準及び下記事項に留意し、申請書等の作成、現地検査及び試料砕石採取等を行って下さい。

記

1. 新規工場の使用承諾申請（新規に工場を稼働しようとする場合）

- (1) 申請書 「道路用砕石使用承諾申請書」(別紙1)
- (2) 提出時期 新規工場稼働時の1か月前までに提出
- (3) 提出先 浜松市 財務部 技術監理課
- (4) 申請項目及び記載要領 新規工場の□内にレ印を付す

2. 継続申請（2年毎の定時審査を受ける場合）

- (1) 申請書 「道路用砕石使用承諾申請書」(別紙1)
- (2) 提出時期 使用承諾初年度の前年4月末日までに提出
※(例)平成26・27年度の使用承諾を受ける場合は、平成25年4月末日まで
- (3) 提出先 浜松市 財務部 技術監理課
- (4) 申請項目及び記載要領 継続の□内にレ印を付す
- (5) その他
 - ・「新規使用申請」、「生産施設変更」の事由を伴う場合は「道路用砕石使用承諾等申請書」(別紙2)を併せて提出
 - ・「使用廃止」、「生産施設廃止」の事由を伴う場合は「道路用砕石廃止等届書」(別紙3)を併せて提出

3. 新規使用申請、生産施設変更申請

- (1) 申請書 「道路用砕石使用承諾変更申請書」(別紙2)
- (2) 提出時期 新規使用申請：使用承諾を受けようとするときに提出
生産施設変更：使用承諾を受けようとするときに提出
※生産施設変更完成後、すみやかに施設検査・品質管理試験を行うことが望ましいことから、事前に連絡し日程調整等を行なうこと
- (3) 提出先 浜松市 財務部 技術監理課
- (4) 申請項目及び記載要領 新規使用申請：使用の□内にレ印を付す
生産施設変更：生産施設の□内と、変更又は機器取替の□内にレ印を付す
- (5) その他
 - ・複数の申請項目がある場合は、項目毎に「道路用砕石使用承諾等申請書」(別紙2)を作成
 - ※(例)生産施設を変更(増設)し、そこで生産する砕石の使用承諾を受ける場合等

4. 使用廃止、生産施設廃止、採取認可期間更新届

- | | |
|----------------|---|
| (1) 申請書 | 「道路用砕石（使用・生産施設）廃止、採取期間更新届書」（別紙3） |
| (2) 提出時期 | 使用廃止：廃止後、すみやかに提出
生産施設廃止：廃止後、すみやかに提出
採取認可期間更新：認可後、すみやかに提出 |
| (3) 提出先 | 浜松市 財務部 技術監理課 |
| (4) 届出項目及び記載要領 | 使用廃止：使用廃止の□内にレ印を付す
生産施設廃止：生産施設廃止の□内にレ印を付す
採取認可期間更新：採取認可期間更新の□内にレ印を付す |
| (5) その他 | ・新たな採取認可が受けられなかった場合は、使用廃止の届出をすること
・複数の届出項目がある場合は、項目毎に「道路用砕石（使用・生産施設）廃止・採取期間更新届書」（別紙3）を作成 |

5. 品質管理試験

粒度調整砕石及びクラッシュランのように単粒度砕石やスクリーニングスなどを素材として製造しているものに関しては、その素材に関する品質管理試験は行わなくても良い。ただし、粒度調整砕石やクラッシュランの品質を満足してもその素材の品質を満足したことにはならない。したがって、その素材を製品とする場合は、新規で使用承諾を得なければならない。

【用語説明】

- | | | |
|--------|---|--|
| 新規工場申請 | ： | 新設の工場において生産する道路用砕石の申請を行うこと |
| 継続申請 | ： | 認可を受けている道路用砕石の定時審査(基準11)の申請を行うこと |
| 新規使用申請 | ： | 年度途中で別種類の道路用砕石の申請を行う場合や、増設した施設で生産する道路用砕石の申請を行うこと
継続申請と同時に申請することもできる |
| 生産施設変更 | ： | 生産ライン及び生産設備の一部増設・一部廃止・使用機器の取替等 |
| 使用廃止 | ： | 認可を受けていた道路用砕石の使用を廃止すること |
| 生産施設廃止 | ： | 工場を廃止すること |
| 採取期間更新 | ： | 道路用砕石使用承諾期間内に採取計画認可期限が到来し、新たに採取計画の認可を受けること |

－ 道路用砕石自主検査試験結果書の作成について －

道路用砕石取扱基準第12項に規定する道路用砕石自主検査試験結果書の様式及び提出等については以下のとおりとする。

1 自主検査試験結果書の様式

別表道路用砕石品質管理一覧表データシートによる。

2 自主検査試験の実施時期

- (1) 10日ごと : 出荷日の10日目ごと
- (2) 3ヶ月ごと : 暦日の3ヶ月ごと
- (3) 年1回 : 年1回の自主検査実施月は、道路砕石取扱基準第11項に定める審査で現地検査及び試料採取（以下「現地検査」という。）を実施した月とする。なお、現地検査が実施された年は年1回の自主検査試験結果書は不要とする。

3 自主検査試験結果書の作成（別紙参照）

- (1) 毎年8月から翌年7月までの1年間分の自主検査試験結果書を2部作成する（内1部は自社控え）。
- (2) 項目ごとに分類しインデックスを添付する。
 - ア 生産業者（表紙）ごと . . . 赤縁のインデックス
 - イ 年1回，3ヶ月ごと，10日ごと . . . 赤縁のインデックス
 - ウ 砕石種別ごと . . . 青縁のインデックス
- (3) A4サイズで左綴じとする。

4 自主検査試験結果書の提出及び自社での保存期限

- (1) 提出物 : 自主検査試験結果書1部（現地検査実施年の8月から翌年7月まで）
- (2) 提出先 : 浜松市財務部技術監理課
- (3) 提出期限 : 9月末日
- (4) 保存期限 : 自主検査試験結果書の提出日から10年間（自社用の控えを保存）
（※電子データでも可）

1 サイズ及び綴じ方

(1) A4サイズ縦型とする

(2) 綴じる位置 左綴じ

(3) インデックスの貼り付け箇所は右側上部で、碎石の種別により1駒ずつ下げる

2 綴じ順及びインデックスの区分け

(1) 年1回、3ヶ月ごと、10日ごとの順とし、3ヶ月ごとと10日ごとは検査日の早い順とする・・・・・・・・(赤)

(2) 碎石の種別(試験項目表順)・・・(青)

3 例示

<p>←縁が赤色のインデックス</p> <p>令和 年度</p> <p>道路用碎石品質管理試験結果一覧表 (年1回3ヶ月ごと及び10日ごと自主検査試験実施分)</p>  <p>会社名</p>	<p>会社名</p>
--	------------

	3 ヶ 月 ご と	→年 1 回、3 ヶ月ごと、10 日ごとの順 (赤い縁のインデックス)
	M 30	→検査日の早い順 (青い縁のインデックス)
	C 30	→検査日の早い順 (青い縁のインデックス)
	S 〇〇	→検査日の早い順 (青い縁のインデックス)
	F 2.5	→検査日の早い順 (青い縁のインデックス)
	↑ 試験項目標準	

道路用碎石品質管理試験項目

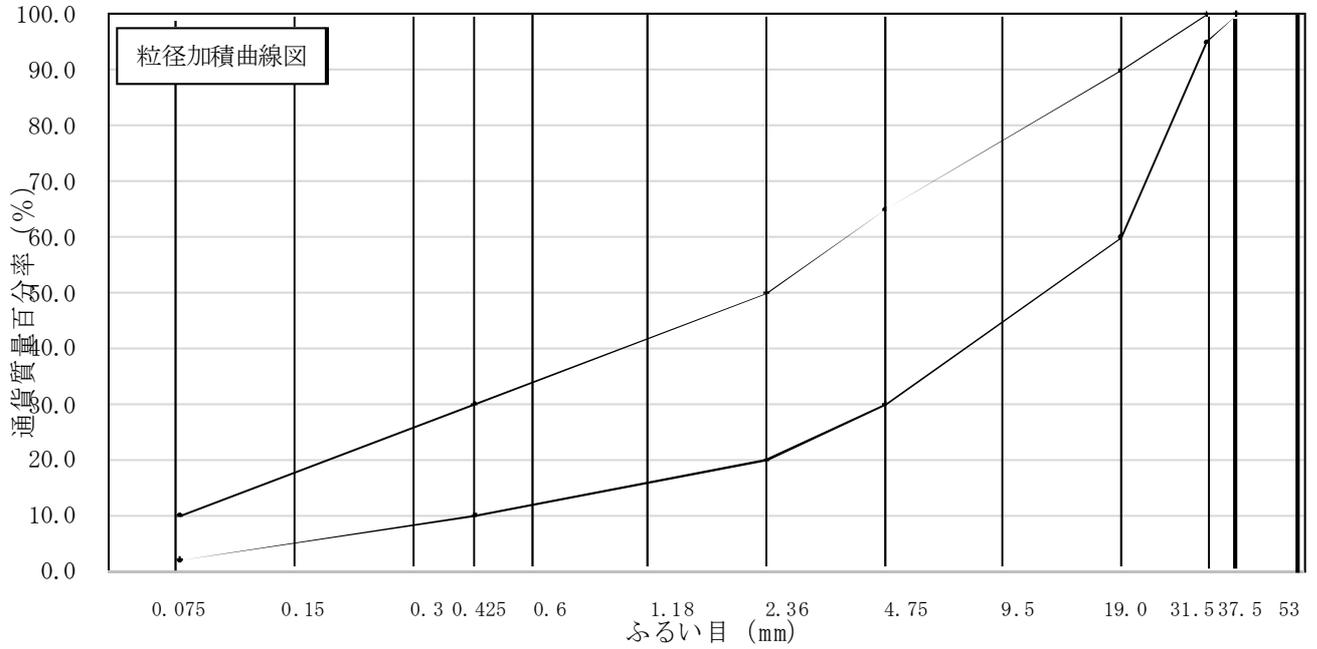
頻度	碎石種別 試験項目	粒調碎石 M-30	クラッシャ ラン C-30	単粒碎石				スクリー ニングス F-2.5	ダスト
				S-30	S-20	S-13	S-5		
10日 ごと	ふるい分け試験	○	○	○	○	○	○	○	○
	含水量試験	○	○						
3ヶ月 ごと	表乾密度試験		●	○	○	○	○		
	吸水率試験		●	○	○	○	○		
年 1 回	ふるい分け試験	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	含水比試験	☆	☆						
	表乾密度試験	☆	☆	☆	☆	☆	☆		
	吸水率試験	☆	☆	☆	☆	☆	☆		
	すり減り試験	☆	☆			☆			
	液性限界試験	☆	☆					☆	☆
	塑性限界試験	☆	☆					☆	☆
	扁平率試験		★		☆	☆			

(注意)

- 1 ○、●、☆、★印を付した試験項目について実施する。
- 2 ●、★印は、瀝青安定処理用クラッシャランで実施する。
- 3 粒調碎石及びクラッシャランの表乾密度試験、吸水率試験及びすり減り減量試験については、13.2 から4.75mm を引き抜き、軟石量試験については 13.2～9.50mm を引き抜いて行う。
- 4 10日ごととは、出荷日に対してである。

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____	会社名 _____
産地 _____	試験日 _____
碎石種別 粒度調整碎石 (M-30)	試験者 _____

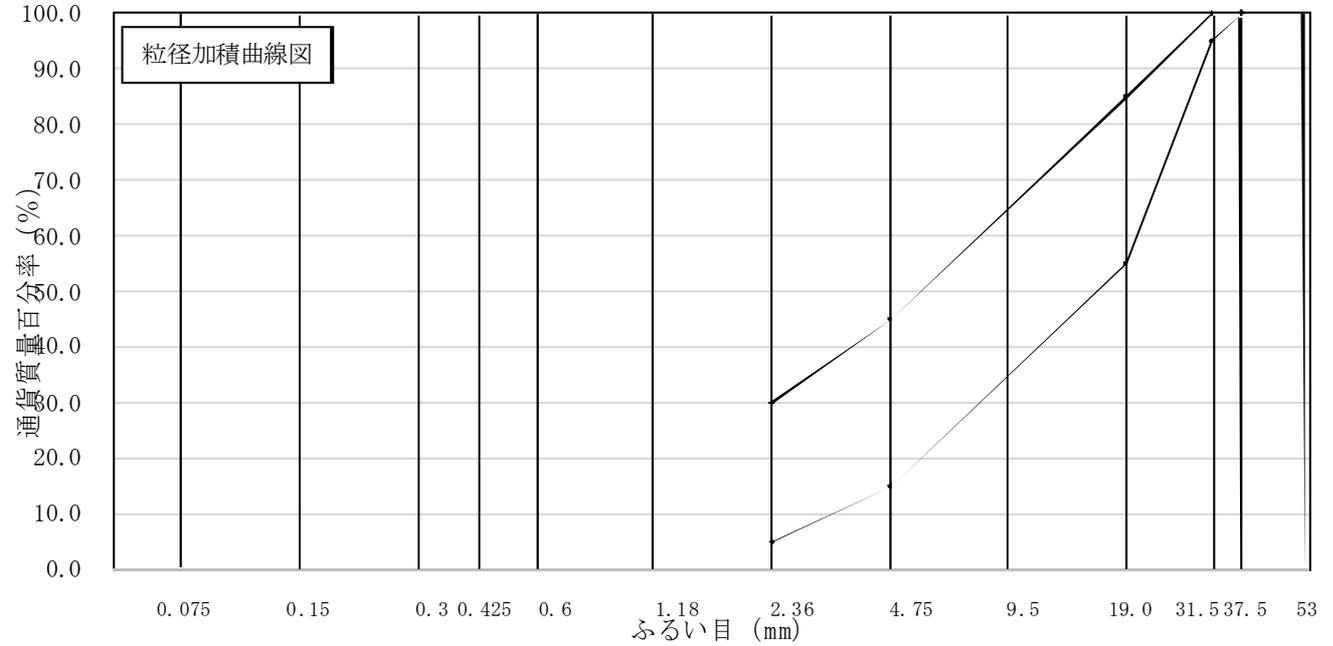


1年に1回実施					
骨材のふるい分け試験				骨材の密度及び吸水率試験	
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値	
37.5				100	①表乾試料質量 g
31.5				95~100	②カゴ+試料の水中質量 g
19				60~90	③カゴの水中質量 g
4.75				30~65	④試料の水中質量 g
2.36				20~50	表乾密度
0.425				10~30	平均値
0.075				2~10	平均値からの偏差
乾燥試料質量		13801.4 g			⑤試料の乾燥質量 g
土の含水比試験		すりへり減量試験 (13.2~4.75mm)			吸水率 %
No.		①試験前の試料質量 g			平均値
m _a		②試験後1.7mmふるい残留質量 g			平均値からの偏差
m _b		③すりへり損失質量 g			
m _c		④すりへり減量 %			
W		すりへり規格値			40%以下
液性限界					
塑性限界					
塑性指数 (PI)					
塑性指数規格値	4以下				
					試験時の水温 _____ °C
					水の密度 _____

密度・吸水率は13.2~4.75を引抜で実施

道路用砕石品質管理一覧表

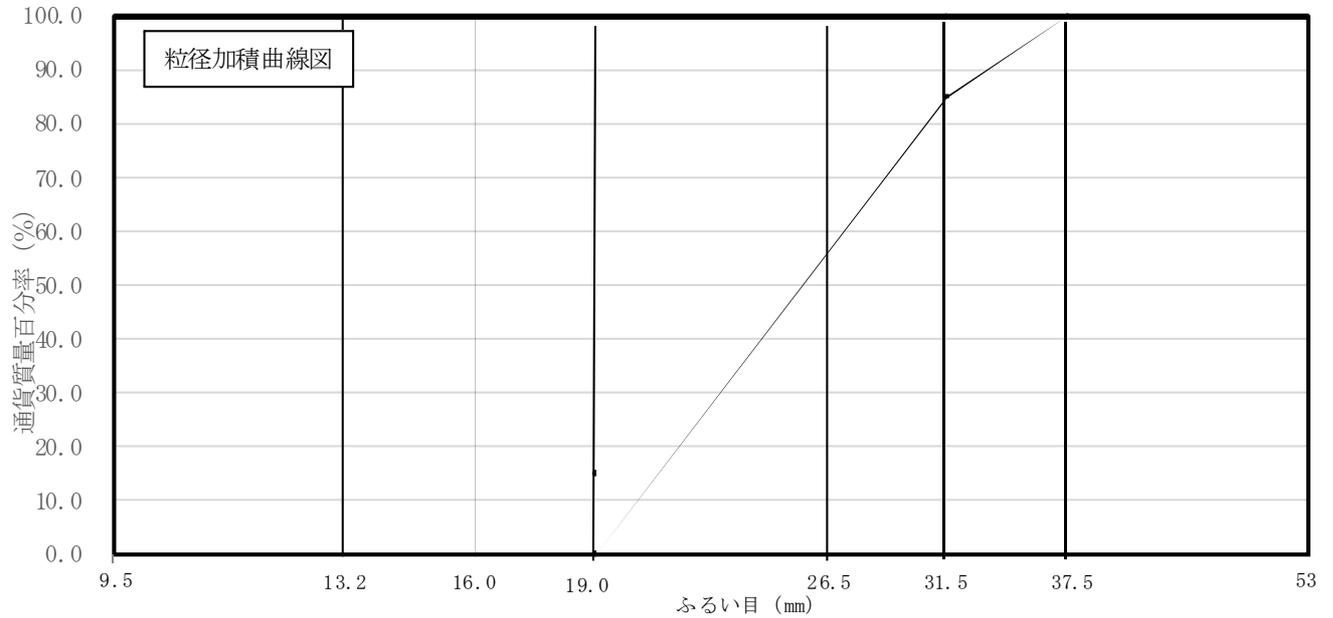
原石種別	会社名
産地	試験日
砕石種別	試験者



1年に1回実施				
骨材のふるい分け試験			骨材の密度及び吸水率試験	
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	
37.5				1 2
31.5				①表乾試料質量 g
19				②カゴ+試料の水中質量 g
4.75				③カゴの水中質量 g
2.36				④試料の水中質量 g
乾燥試料質量	g			表乾密度
土の含水比試験		すりへり減量試験(13.2~4.75mm)		
No.		①試験前の試料質量 g		平均値
m _a		②試験後1.7mmふるい残留質量 g		平均値からの偏差
m _b		③すりへり損失質量 g		表乾密度規格値
m _c		④すりへり減量 %		⑤試料の乾燥質量 g
W		すりへり規格値		吸水率 %
				40%以下
液性限界		骨材の形状試験		
塑性限界		①試料の質量	g	平均値
塑性指数(PI)		②扁平質量	g	平均値からの偏差
塑性指数規格値	6以下	③扁平率	%	吸水率規格値
★印は歴青安定処理クラッシュランの規格値				
密度・吸水率は13.2~4.75を引抜で実施				
試験時の水温			°C	
水の密度				

道路用砕石品質管理一覽表

原石種別	会社名
産地	試験日
砕石種別	試験者



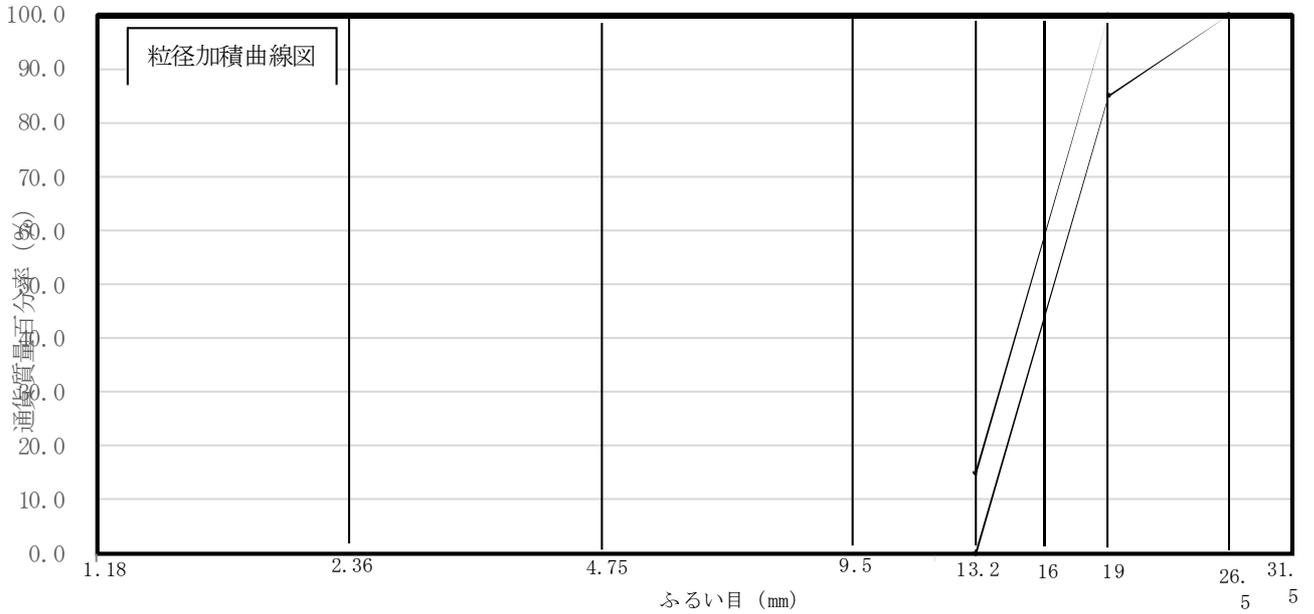
1年に1回実施							
骨材のふるい分け試験				骨材の密度及び吸水率試験			
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値	1	2	
37.5				100			
31.5				85~100			
19				0~15			
乾燥試料質量	g						
①表乾試料質量					g		
②カゴ+試料の水中質量					g		
③カゴの水中質量					g		
④試料の水中質量					g		
表乾密度							
平均値							
平均値からの偏差							
表乾密度規格値							
⑤試料の乾燥質量					g		
吸水率					%		
平均値					%		
平均値からの偏差							
吸水率規格値					3.0%以下		

試験時の水温		°C
水の密度		

道路用砕石品質管理一覽表

原石種別	会社名
産地	試験日
砕石種別	試験者

砕石種別 単粒砕石 (S-20)

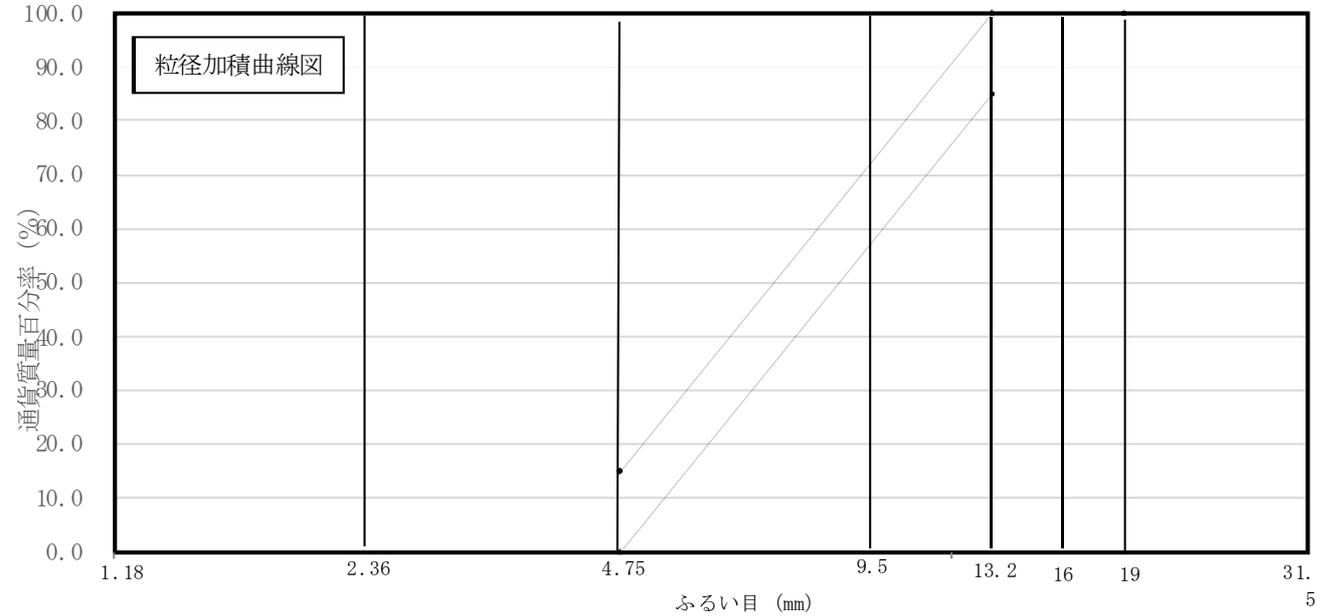


1年に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
26.5				100
19				85~100
13.2				0~15
乾燥試料質量	g			
骨材の形状試験				
①試料の質量	g			
②扁平質量	g			
③扁平率	%			
扁平率規格値				10%以下
骨材の密度及び吸水率試験				
	1	2		
①表乾試料質量	g			
②カゴ+試料の水中質量	g			
③カゴの水中質量	g			
④試料の水中質量	g			
表乾密度				
平均値				
平均値からの偏差				
表乾密度規格値	2.45以上			
⑤試料の乾燥質量	g			
吸水率	%			
平均値	%			
平均値からの偏差				
吸水率規格値	3.0%以下			

試験時の水温		℃
水の密度		

道路用砕石品質管理一覽表

原石種別	会社名
産地	試験日
砕石種別	試験者



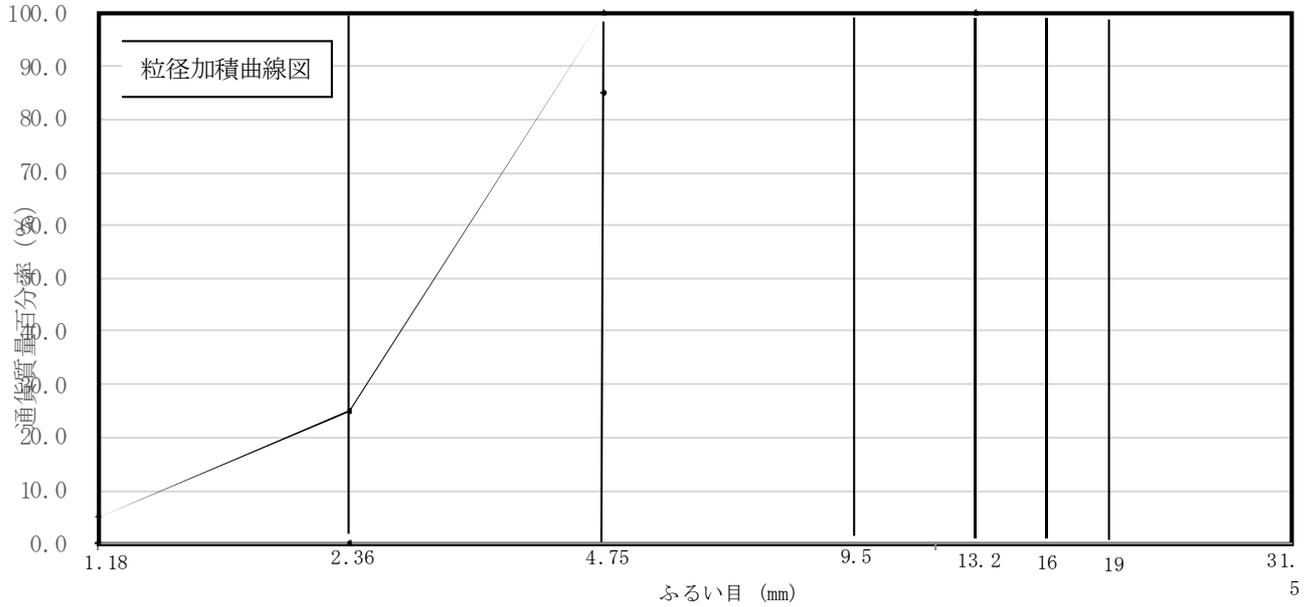
1年に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
19				100
13.2				85~100
4.75				0~15
乾燥試料質量	g			
すりへり減量試験 (13.2~4.75)				
①試験前の資料質量	g			
②試験後1.7mmふるい残留質量	g			
③すりへり損失質量	%			
④すりへり減量	%			
すりへり規格値	%			30%以下
骨材の形状試験				
①試料の質量	g			
②扁平質量	g			
③扁平率	%			
扁平率規格値				10%以下
骨材の密度及び吸水率試験				
		1	2	
①表乾試料質量	g			
②カゴ+試料の水中質量	g			
③カゴの水中質量	g			
④試料の水中質量	g			
表乾密度				
平均値				
平均値からの偏差				
表乾密度規格値				2.45以上
⑤試料の乾燥質量	g			
吸水率	%			
平均値	%			
平均値からの偏差				
吸水率規格値				3.0%以下
試験時の水温			°C	
水の密度				

道路用砕石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試験日 _____

砕石種別 単粒砕石(S-5) _____ 試験者 _____



1年に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
13.2				100
4.75				85~100
2.36				0~25
1.18				0~5
乾燥試料質量	g			

骨材の密度及び吸水率試験		
	1	2
①表乾試料質量 g		
②カゴ+試料の水中質量 g		
③カゴの水中質量 g		
④試料の水中質量 g		
表乾密度		
平均値		
平均値からの偏差		
表乾密度規格値	2.45以上	
⑤試料の乾燥質量 g		
吸水率 %		
平均値 %		
平均値からの偏差		
吸水率規格値	3.0%以下	

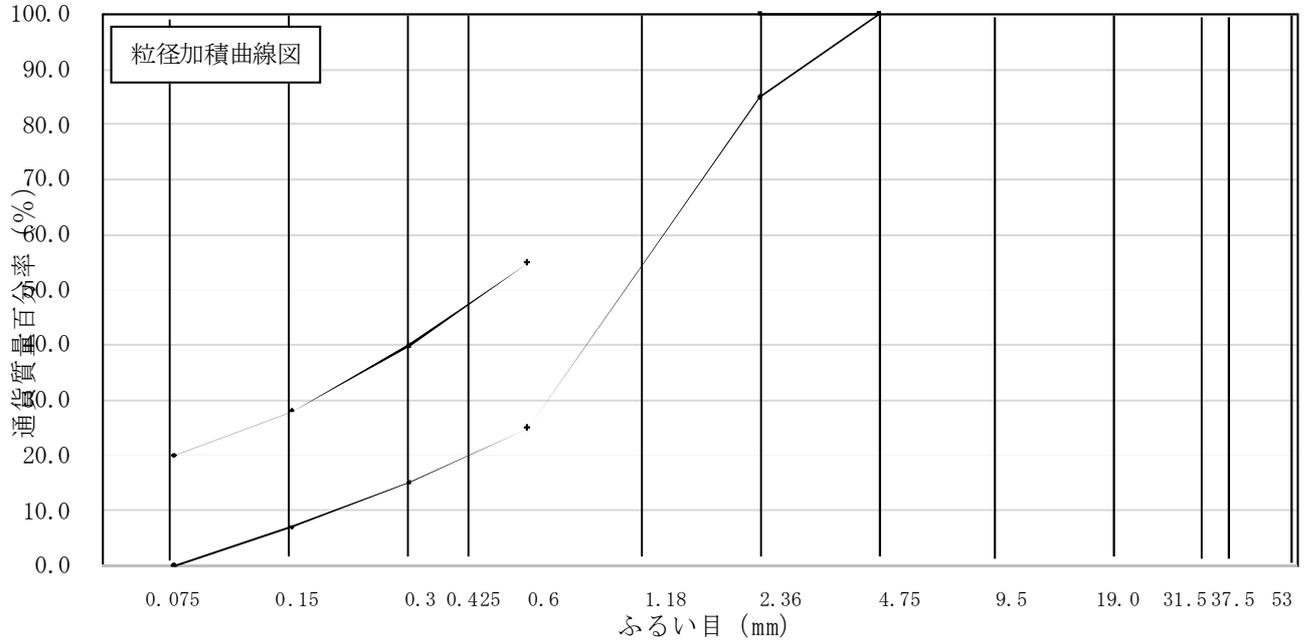
試験時の水温		°C
水の密度		

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試験日 _____

碎石種別 スクリーニングス(F-2.5) _____ 試験者 _____



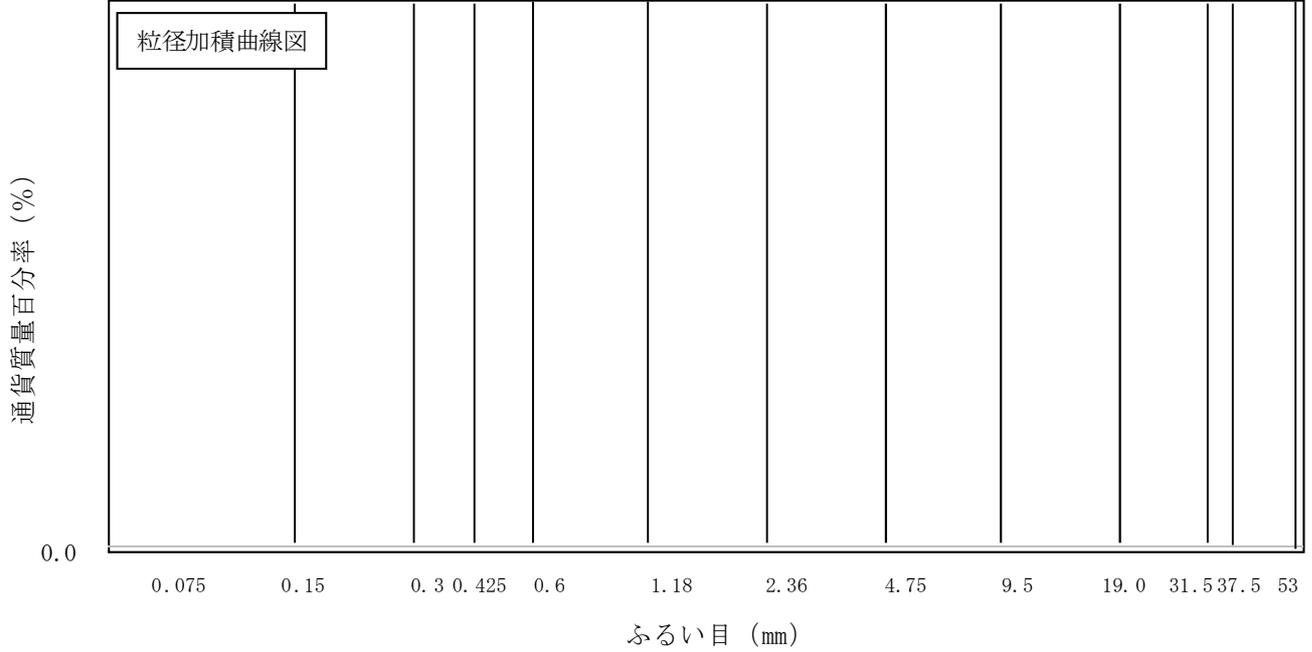
1年に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
4.75				100
2.36				85~100
0.6				25~55
0.3				15~40
0.15				7~28
0.075				0~20
乾燥試料質量	g			
液性限界				
塑性限界				
塑性指数 (P1)				
塑性指数規格値	NP			

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試 験 日 _____

碎石種別 ダスト 砂 _____ 試 験 者 _____



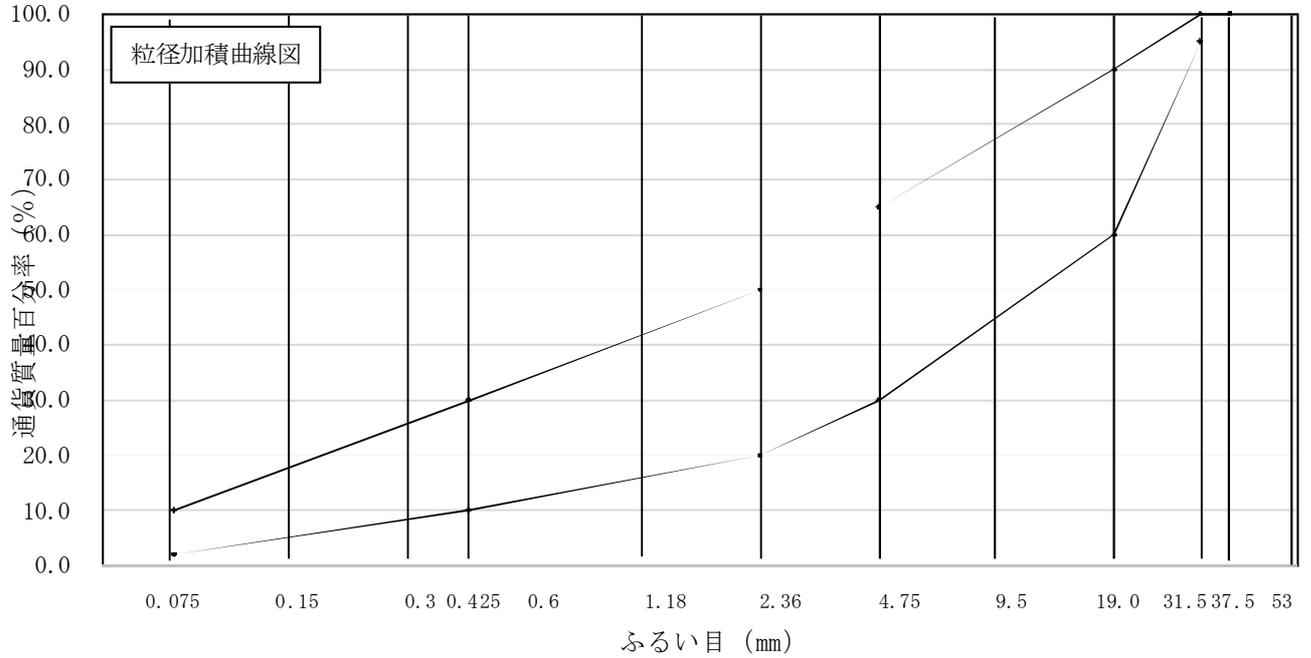
1年に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	自主管理規格値
9.50				
4.75				
2.36				
0.6				
0.3				
0.15				
0.075				
乾燥試料質量	g			
液性限界				
塑性限界				
塑性指数 (PI)				
塑性指数規格値	/			

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試験日 _____

碎石種別 粒度調整碎石 (M-30) _____ 試験者 _____



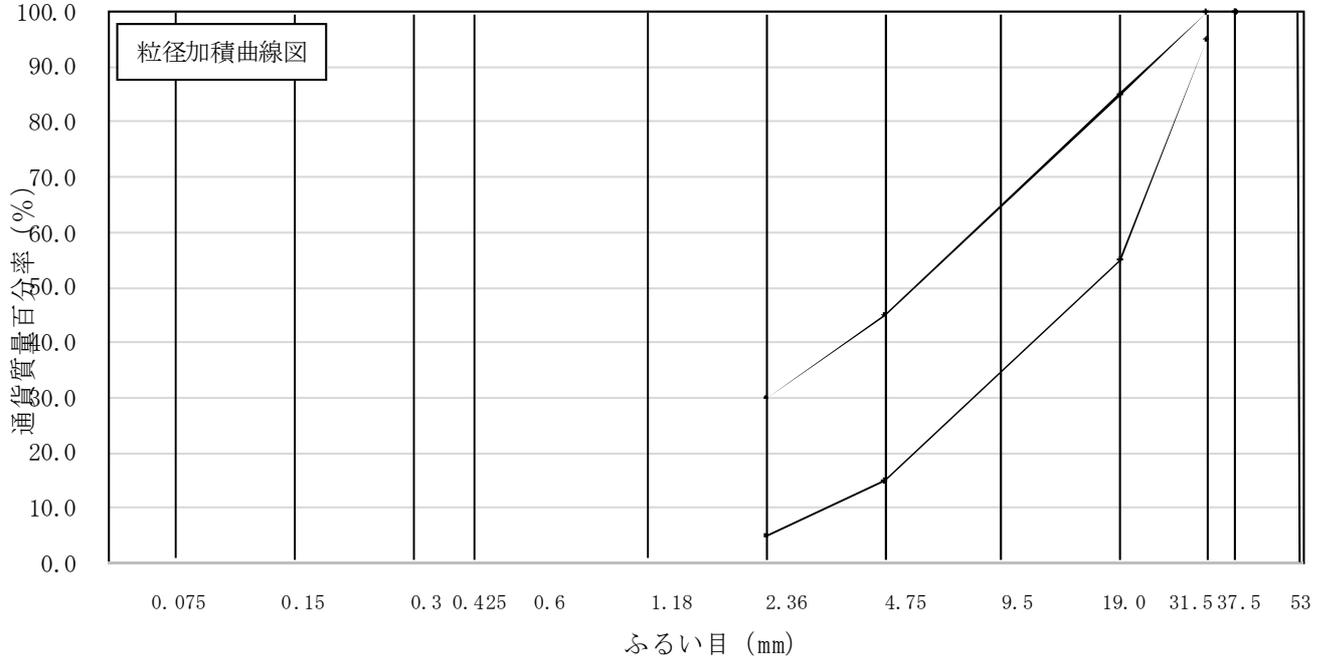
10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
37.5				100
31.5				95~100
19				60~90
4.75				30~65
2.36				20~50
0.425				10~30
0.075				2~10
乾燥試料質量		g		
土の含水比試験				
No,				
ma				
mb				
mc				
w				
No,	: 容器番号			
ma	: (湿潤土+容器) 質量			
mb	: (乾燥土+容器) 質量			
mc	: (乾燥土+容器) 質量			
w	: 容器質量			

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試 験 日 _____

碎石種別 クラッシュラン (C-30) _____ 試 験 者 _____



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
37.5				100
31.5				95~100
19				55~85
4.75				15~45
2.36				5~30
乾燥試料質量	g			

土の含水比試験	
No,	
ma	
mb	
mc	
w	
No,	: 容器番号
ma	: (湿潤土+容器) 質量
mb	: (乾燥土+容器) 質量
mc	: (乾燥土+容器) 質量
w	: 容器質量

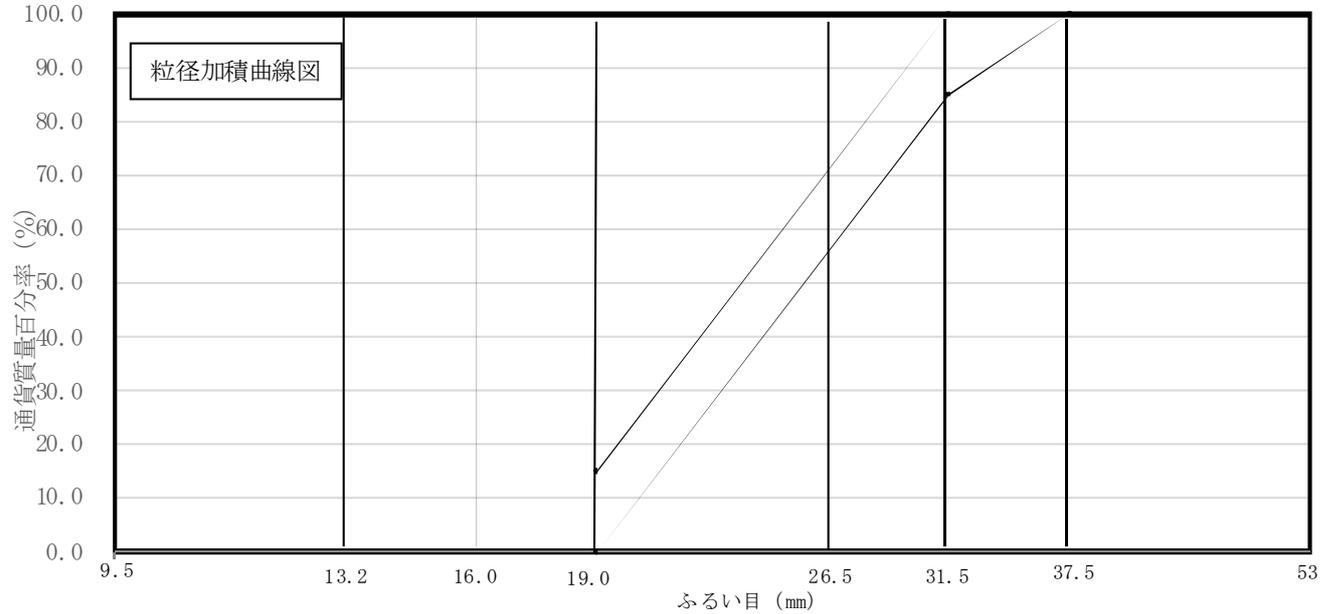
3ヶ月に1回実施		
(瀝青安定処理クラッシュランで実施)		
	1	2
①表乾試料質量	g	
②カゴ・試料の水中質量	g	
③カゴの水中質量	g	
④試料の水中質量	g	
表乾密度		
平均値		
平均値からの偏差		
表乾密度規格値		★2.45以上
⑤試料の乾燥質量	%	
吸水率	%	
平均値	%	
平均値からの偏差		
給水率規格値		★3.0%以下

★印は瀝青安定処理クラッシュランの規格値
密度・吸水率は13.2~4.75を引抜で実施

試験時の水温		°C
水の密度		

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別	会社名
産地	試験日
碎石種別	試験者



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
37.5				100
31.5				95~100
19				0~15
乾燥試料質量	g			

3ヶ月に1回実施		
骨材の密度及び吸水率試験		
	1	2
①表乾試料質量	g	
②カゴ・試料の水中質量	g	
③カゴの水中質量	g	
④試料の水中質量	g	
表乾密度		
平均値		
平均値からの偏差		
表乾密度規格値	2.45以上	
⑤試料の乾燥質量	%	
吸水率	%	
平均値	%	
平均値からの偏差		
給水率規格値	3.0%以下	

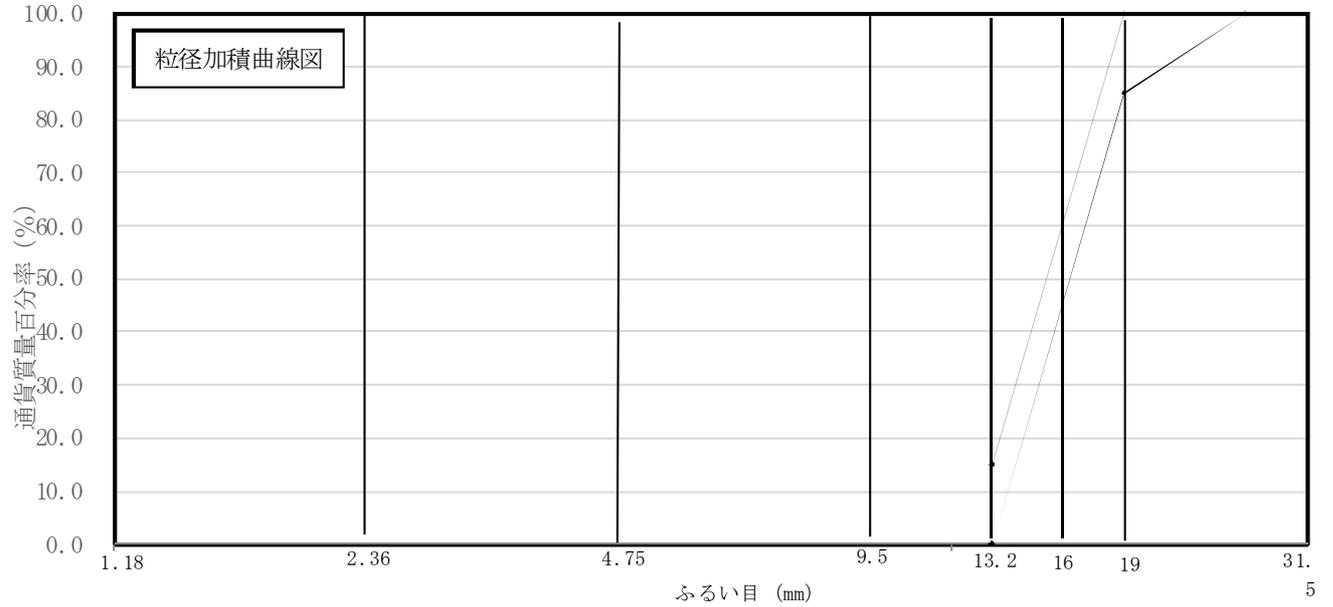
試験時の水温		°C
水の密度		

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試 験 日 _____

碎石種別 単粒度碎石S-20 (5号) _____ 試 験 者 _____



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
26.5				100
19				85~100
13.2				0~15
乾燥試料質量	g			

3ヶ月に1回実施		
骨材の密度及び吸水率試験		
	1	2
①表乾試料質量	g	
②カゴ・試料の水中質量	g	
③カゴの水中質量	g	
④試料の水中質量	g	
表乾密度		
平均値		
平均値からの偏差		
表乾密度規格値	2.45以上	
⑤試料の乾燥質量	%	
吸水率	%	
平均値	%	
平均値からの偏差		
給水率規格値	3.0%以下	

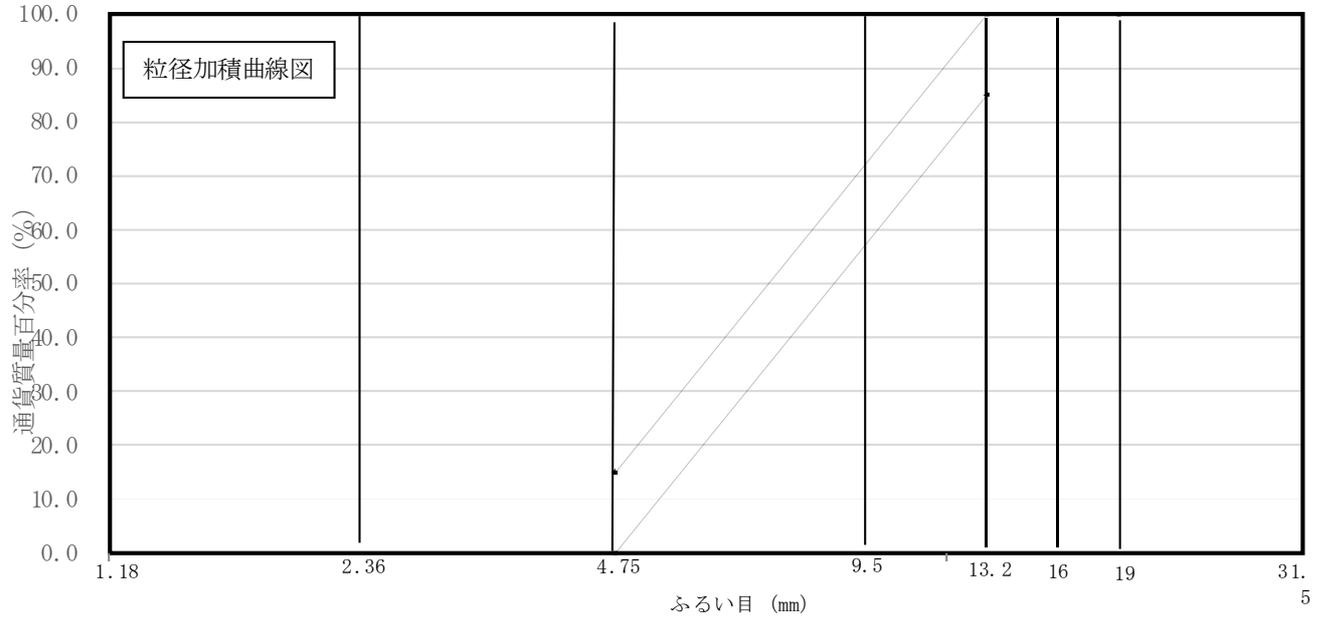
試験時の水温		°C
水の密度		

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試 験 日 _____

碎石種別 単粒度碎石S-13 (6号) _____ 試 験 者 _____



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
19				100
13.2				85~100
4.75				0~15
乾燥試料質量	g			

3ヶ月に1回実施		
骨材の密度及び吸水率試験		
	1	2
①表乾試料質量	g	
②カゴ・試料の水中質量	g	
③カゴの水中質量	g	
④試料の水中質量	g	
表乾密度		
平均値		
平均値からの偏差		
表乾密度規格値	2.45以上	
⑤試料の乾燥質量	%	
吸水率	%	
平均値	%	
平均値からの偏差		
給水率規格値	3.0%以下	

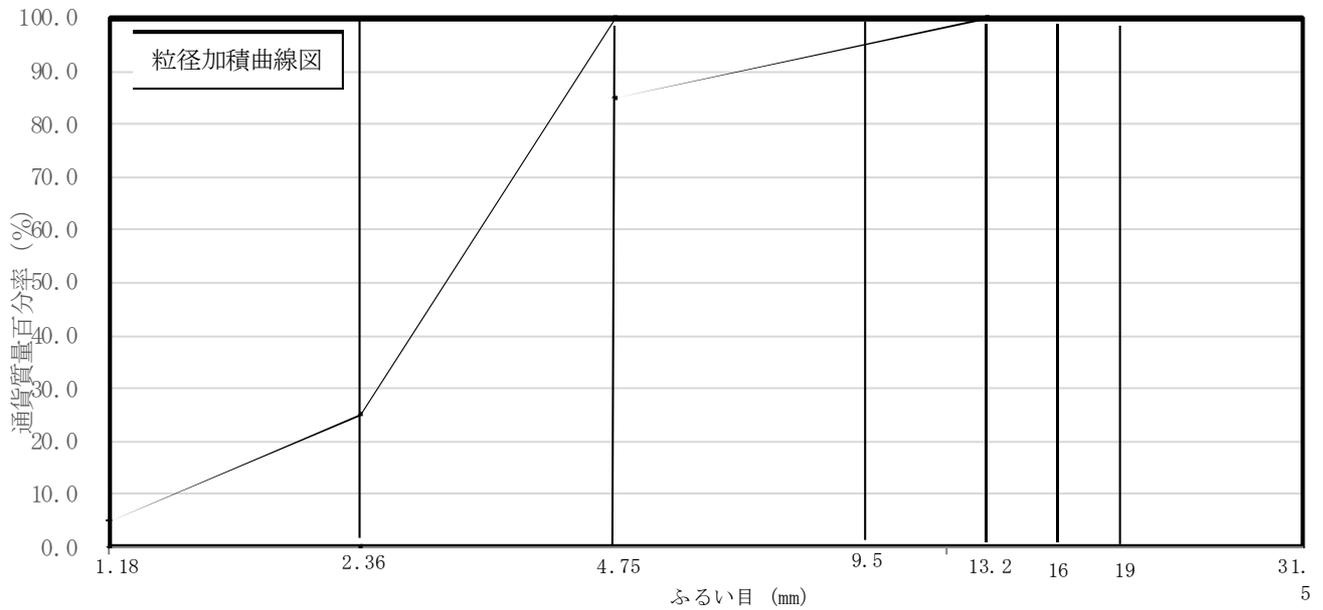
試験時の水温		°C
水の密度		

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試 験 日 _____

碎石種別 単粒度碎石S-5 (7号) _____ 試 験 者 _____



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
13.2				100
4.75				85~100
2.36				0~25
1.18				0~5
乾燥試料質量	g			

3ヶ月に1回実施		
骨材の密度及び吸水率試験		
	1	2
①表乾試料質量	g	
②カゴ・試料の水中質量	g	
③カゴの水中質量	g	
④試料の水中質量	g	
表乾密度		
平均値		
平均値からの偏差		
表乾密度規格値	2.45以上	
⑤試料の乾燥質量	%	
吸水率	%	
平均値	%	
平均値からの偏差		
給水率規格値	3.0%以下	

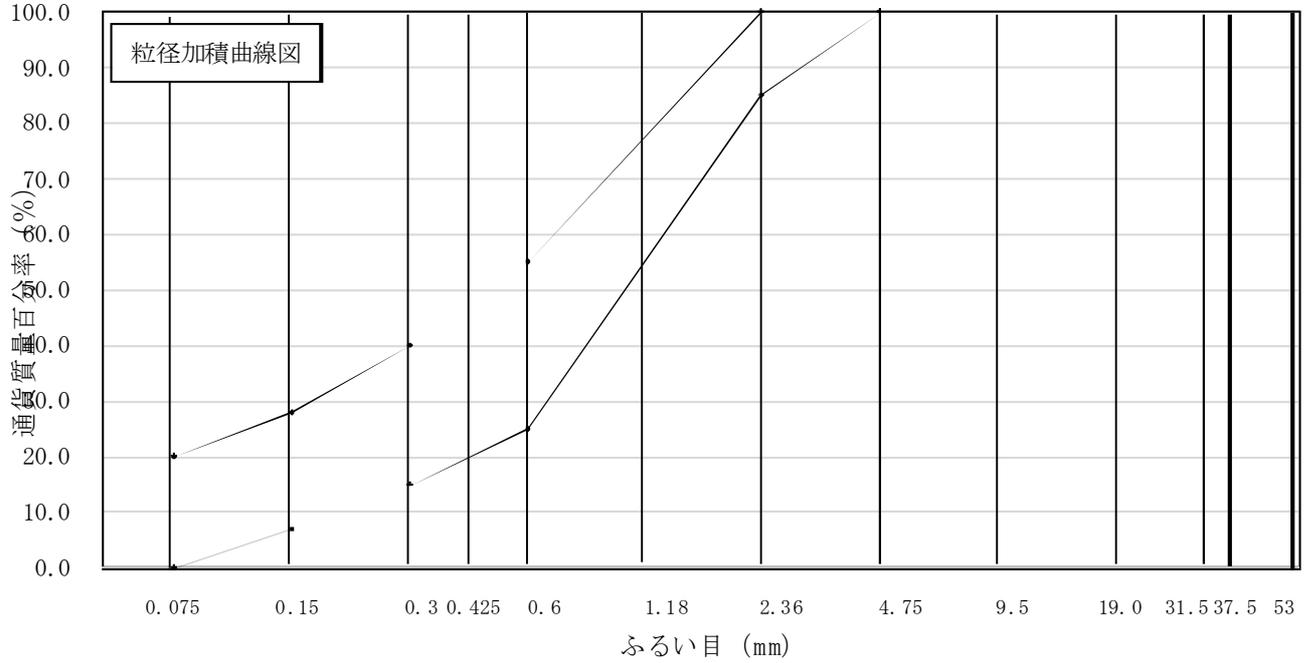
試験時の水温		°C
水の密度		

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____ 会社名 _____

産 地 _____ 試 験 日 _____

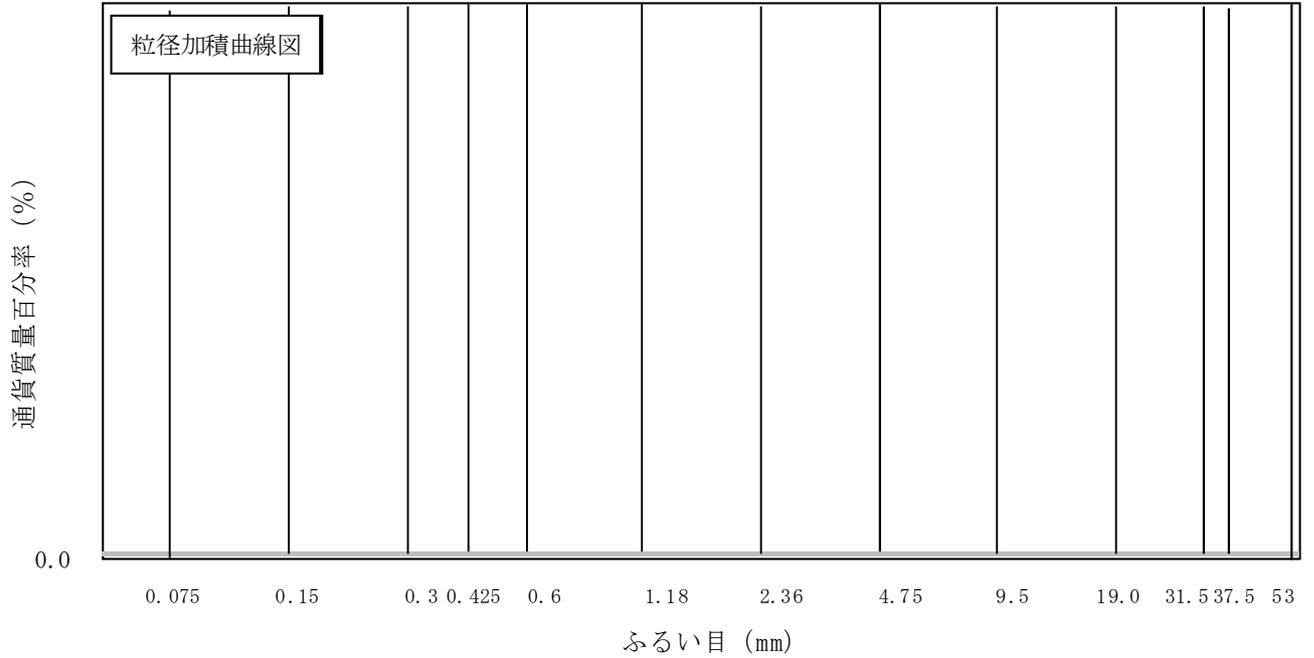
碎石種別 スクリーニングス (F-2.5) 試 験 者 _____



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	規格値
4.75				100
2.36				85~100
0.6				25~55
0.3				15~40
0.15				7~28
0.075				0~20
乾燥試料質量	g			

道路用碎石品質管理一覽表

原石種別 _____	会社名 _____
産 地 _____	試 験 日 _____
碎石種別 ダスト 砂	試 験 者 _____



10日に1回実施				
骨材のふるい分け試験				
ふるい目の開き (mm)	累加残留試料質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	自主管理規格値
9.50				0
4.75				0
2.36				0
0.6				0
0.3				0
0.15				0
0.075				0
乾燥試料質量	g			